

## 1. 本園の教育目標

「よくあそぶ子」、「よくがんばる子」、「よくかんがえる子」という三本柱を保育の中心に置き、主体的に活動できる子を育てる
---

## 2. 2019年度 重点的に取り組む目標・計画

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動あそびの方法や展開を研究する（研修と研究）</li> <li>・危機管理マニュアルの見直し（研修と研究）</li> <li>・長期的な見通しをもって保育内容を工夫（保育の計画性）</li> <li>・園での保育教育内容を保護者に知らせる（保護者への対応）</li> </ul> |
|--|

## 3. 2019年度 教職員の達成及び取り組み状況

保育の計画性	子どもたちの今のすがたを尊重しながら、長期的な見通しをもって活動の内容や展開を考えてきたが、一部他の教員と共有する内容についてもう少し話し合う必要があった	B
保育のあり方 幼児への対応	園児の言葉にならない思いやサインを見逃さないように教職員全員がひとりひとりについて情報を共有する	B
資質や能力・適正	子どもはそれぞれ個性があり違うということを前提に保育を行うところであるが、保育場面で同じように接してしまうことがあった	B
保護者への対応	毎月のクラス便りの他、適宜保育発表や保護者懇談を行い、年間を通して子どもの成長を共有した	B
地域とのかかわり	町内清掃活動や商店街お買い物、幼児画の掲示協力、未就園児親子活動などを通して、地域において幼児とのつながりを推進している	B
研修と研究	外部講師陣による園内研修で、運動あそびについて教職員間での知識技術の共有を図り資質の向上に繋がった 危機管理マニュアルも文章量を削減し理解しやすいよう改善した	A

## 4. 2019年度 総合的な評価結果

B	<p>年間で重点的に取り組む内容について、個人での研究研修のほか他の教職員や外部講師陣との検討の結果、概ね適切に保育が行われた</p> <p>職員それぞれが保育内容についても PDCA サイクルを意識してさらなる向上を目指している</p> <p>保育の計画変更について再考が求められる</p> <p>保護者への情報提供も更に伝わりやすくできるように行いたい</p>
---	--

## ◎「3・4」の評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

5. 2019年度 今後の取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
保育の計画性	園の教育理念や全体的な計画について教職員間でもっと話し合い、保育のねらいを押さえて全ての教職員が変更計画に参加する
保育のあり方 幼児への対応	保育実践の共有として子ども一人ひとりに対応した言葉掛け、活動の見守りなど、年間3回以上保育の見学や検討会をとおして学び合う
資質や能力・適正	保育の運営について管理職に年1回以上は評価をもらう
保護者への対応	ホームページや掲示を活用するなど、園での保育教育内容を保護者に知ってもらえるよう工夫する
地域とのかかわり	淡路駅周辺工事の状況により園外活動のルートを随時再考
研修と研究	園舎改築に向けて運動あそびの方法について外部講師のアドバイスをいただきながら戸外運動あそびと室内運動あそびの方法や展開を研究

6. 2019年度 学校関係者評価

先生方が子どもの思いやサインを受け止めていただき、一人ひとりについてよく把握して、クラスの枠を超えて見守ってくれるのは心強い
消防署による防火訓練、警察署による防犯訓練、動物に変身して避難する防災ダック訓練、地域清掃クリーン大阪、人と人とを結ぶ紙芝居の会による読み聞かせ、アラウータン体操に合わせた手洗い指導など、地域や社会との関わりを経験し、子どもたちも興味深く参加できた
先生方の取り組みを知って長期的な見通しをもった子育てを意識した
臨床心理士による子育て相談や教職員へのアドバイスは地域の子育て支援のみならず円滑に保育をするうえで重要な要素
講師の紹介をしていただき、活動内容や講師の人柄がよくわかった
お父さんの会の活動が子どもたちにとって大好評であった
お母さんの会での保護者負担を軽減した活動内容の提案を受け入れていただきよかった

7. 2019年度 財務状況

公認会計士による監査において、財務状況が適正であることについて評価を受けております。
--